



そのためには野菜を栽培するだけでなく、農業で頑張っている人を紹介するなどの情報発信が大切だと考え、何度も会議を重ねています。また、大きな農業イベントとのコラボレーションも計画中です。



若者ファーム

令和元年から、農業を通じて地域交流をすることをテーマに活動をスタートしました。農業を若者と地域の人たちとの交流の場と捉え、農業に興味を持つ若者を増やしたいと考えています。

◆個別プロジェクト活動

魅力あるまちづくりをめざし、同じテーマや目的を持ったメンバー同士がプロジェクトチームを立ち上げて活動しています。



あけぼの学園高校取材

また、高校との連携にも力を入れ、市内県立高校3校を取材し、頑張っている高校生の様子をインスタグラムに掲載しました。



平成30年、市内事業者を応援するプロジェクトとして発足しました。インスタグラム (Instagram) を中心としたSNSにより、コロナ禍のなか活躍している事業者などを応援するエール活動や、メンバーがおすすするスポットの情報発信を行っています。

#いがまるエール



# IGABITO 育成プロジェクト



【問い合わせ】 地域創生課  
 ☎ 22-9623 FAX 22-9672  
 ✉ chisou@city.iga.lg.jp



伊賀白鳳高校取材



上野高校取材



伊賀市若者会議は、今年度から第3期の活動をスタートしました。現在、伊賀市若者会議のメンバーは35人。伊賀を愛し、「伊賀を元気にしたい」という思いのもと、さまざまな活動をしています。

## 伊賀市若者会議

IGABITO育成プロジェクトは、自らが地域の担い手となり、より良い伊賀を創る意識と実行力を持った若者の発掘・育成に取り組んでいます。今回は、伊賀市若者会議の活動と、市内県立高等学校での取り組みをご紹介します。



子育て包括支援センター取材

今年度は市内の子育て支援センターを取材し、インスタグラムで紹介しました。また、現在おもちの譲渡会を企画中です。



Como project



平成31年、「伊賀の未来を担う子どもたちをまわ全体で育てられるような環境を作りたい」という思いから結成したプロジェクトです。子どもと一緒に出かけられる場所や、一緒に参加できるイベントなどの情報発信を通じて、子どもたちや子育て世帯が暮らしやすいまちづくりをめざしていきます。



キックオフ会議の様子



行政オンラインサービス説明動画の撮影



**動画作成のための企画提案**

移行検討者に向けて伊賀市の魅力を伝えるためのプロモーション動画を作成するにあたり、企画提案を行いました。ターゲット層やコンセプトを明確にするほか、配信媒体の検討など、伊賀市を印象つける動画にするためにはどうすれば良いか会議を重ねました。動画は近日公開予定です。



**伊賀市移住促進PR動画作成**

**◆市政への参画活動**

行政などの事業にも企画段階から参画しています。各事業と連携し、市政への市民参画の促進、効果的、継続的な伊賀市のシティブロモーションに貢献しています。



**伊賀音脈の様子**

令和2年から、「音楽で伊賀市を元気にしたい」という思いで活動しています。音楽を愛する人たちが世代を問わずつながり、気軽に音楽活動ができるまちをめざしています。

今年度は10月16日にこのプロジェクトがサポートする音楽イベント「伊賀音脈」を開催し、ポスター制作から出演者の募集、音響設備の準備、司会・進行まで、すべて実行委員会で行いました。当日はたくさんの方が来場し、皆さんから熱い応援をいただきました。来年度は4月15日に開催を予定していますので、お楽しみに。



**伊賀音楽の集い**



**伊賀市公式YouTubeチャンネル「忍者市チャンネル」で動画配信中！**

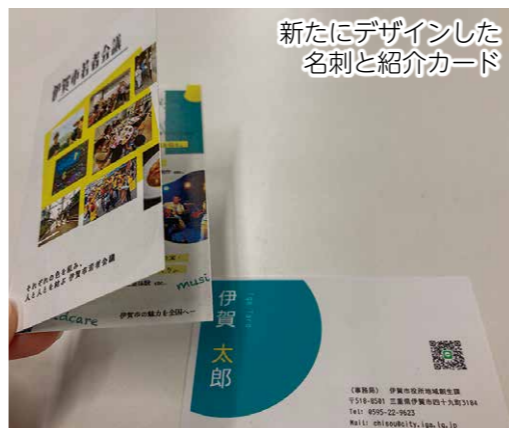
取説説明動画

動画は、本庁舎1階のデジタルサイネージ（電子看板）で放映中です。

**DX推進事業**

10月3日から運用を開始した行政オンライン申請サービスを広く周知するため、利用方法の説明動画とプロモーション動画2本を担当課と一緒に企画し、撮影しました。動画には伊賀市若者会議メンバーも出演しています。

**DX推進事業**



**広報宣伝部**

令和元年の結成当初は、伊賀市若者会議メンバーがお祭りを通して地域と関わり、盛り上げ、若者が活躍できる伊賀を発信していくことを目的としていました。しかし、コロナ禍により2年間の活動停滞を余儀なくされ、今年度からメンバーを再編成して再スタートしました。

SNS運営やPR方法を見直し、皆さんに若者会議を知ってもらうための宣伝活動を行っています。

今年度は伊賀市若者会議の名刺と紹介カードを刷新しました。来年度は伊賀市若者会議のロゴもリニューアルしたいと思います。



**広報宣伝部**



**特集記事のテーマについて提案**

「広報いが」をより市民に親しみやすいものにするため、特集記事のテーマについて意見を出し合い、2月号の「公共交通特集」と3月号の「IGABITO育成特集」の記事作成に取り組みました。



**「広報いが」特集記事制作**

**行政事務事業評価審査委員会**

効果的、効率的な行政経営の推進を図るため、外部有識者が見直した事業内容を市民の視点で審査する行政事務事業評価審査会に、伊賀市若者会議メンバーから2人が委員として参画し、意見や提言を行いました。

**行政事務事業評価審査委員会**



**企画会議の様子**

令和4年6月、各個別プロジェクトが連携し、伊賀市若者会議全体の活動やイベントをしたいという思いから発足したチームです。今年度は各プロジェクトの進捗状況などを把握し、プロジェクト間の横のつながりをつくるための企画会議と、メンバー間のコミュニケーションをより円滑にするための交流会を定期的に開催しました。今後は、伊賀市若者会議の活性化につながるよう、プロジェクト間の連携を強固なものにし、新たな活動に取り組んでいきたいと思っています。



**来々さあくる**



**ヤングケアラーに関する中高生への有効な調査方法の企画業務**

ヤングケアラーであると思われる子どもや若者を把握し、その人や家族がおかれている状況を理解するためには、どのような調査方法が有効的であるかを話し合いました。その意見をもとに今年度は市内の小学校6年生と公立中学校1、2年生を対象にアンケートを実施しました。また高校生を対象としたアンケートも検討しています。

**ヤングケアラーに関する中高生への有効な調査方法の企画業務**

**男女共同参画フォーラム「いきいき未来いが2023」**

令和5年度「いきいき未来いが」に向けて実行委員会メンバーとして参画し、意見や提言を行っています。SNSでの情報発信を行うなど、若い人が魅力的に感じるフォーラムの開催に向け、取り組んでいます。



**男女共同参画フォーラム「いきいき未来いが2023」**



**伊賀市若者会議 新規メンバー 随時募集中!!**

より良い「伊賀」を創るため、共に活動するメンバーを随時募集しています。

市内在住、在勤者や出身者など、伊賀市にゆかりのある18歳以上35歳以下の人が対象です。若い力で伊賀を盛り上げましょう。

# IGABITO 育成プロジェクト

## 市内県立高校での取り組み

「高校生に伊賀市を好きになってもらいたい」「将来、進学や就職などで伊賀市を離れてしまっても、いつか伊賀市に帰ってきたい、関わりを持ち続けたいと思ってもらいたい」との願いのもと、市内県立高等学校が行う地域学やキャリア教育などの取り組みを紹介します。

### あけぼの学園高等学校

あけぼの学園高校では、地域と連携したキャリア教育を行っています。1月21日(土)に、学習の成果を「第20回成果発表会」で発表しました。

1年次生は、10班に分かれて地域の事業所や伝統産業施設などを訪問し、フィールドワークの成果をポスターにし掲示しました。伊賀焼を体験したり、伊賀の事業所で誇りをもって仕事に取り組んでいる人々にお会いすることで、大きな学びがありました。

健康福祉系列のスポーツレクリエーションの授業では、選択生徒自らが考えた運動遊びなどで地域の保育園と交流しました。

製菓調理系列では、地域の野菜ソムリエを講師として招き、アドバイスをいただきながら、調理の授業で地域食材をふんだんに使用した弁当のレシピ開発に取り組みました。これからも、総合学科の特色を生かしながら地域と連携したキャリア教育を推進していきます。

野菜ソムリエとのレシピ開発



開発したお弁当



伊賀焼を体験



保育園での交流

### 伊賀白鳳高等学校

機械科では、小学校の教室のついでなどを製作、建築デザイン科では、全国高校生建築提案コンテスト「SDGsの先にあるわたしたちの社会」で、多文化共生の地区センターの設計を行った作品「歩みからひとつになる街づくり」が奨励賞を受賞しました。

生物資源科では、ノハナショウブの保全活動と小学生への説明・観察会を行い、ヒューマンサービス科では、AEDなどを使用した救急法を身につけた上で、寄せ植え教室などを通して園児や高齢者との交流を行いました。

学校全体では、フードシステム科パティシエコースが中心となり、「市民夏のにぎわいフェスタ2022」で、パンダパフェづくり体験と各学科ポスター展示を行いました。また、市内レンタルスペースで、各学科の実習作品の展示やモノづくり体験などを行う「白鳳Cafe」を行いました。

市民夏のにぎわいフェスタ2022



白鳳Cafe



全国高校生建築提案コンテスト奨励賞受賞作品



ノハナショウブの観察会



### 上野高等学校

1年生は秋に実施したフィールドワークなどで調査・分析した内容をまとめ、体育館でポスターセッションを行いました。Chromebook(学習端末)をうまく利用したポスターもあり、質の高いセッション(質疑応答)が生まれる場面がたくさんありました。

2年生はさまざまな地域課題の解決策を考えました。中間発表を複数回行って経験を積み、2月の最終報告会ではプレゼン形式で1、2年生の前でアイデアを報告しました。

3年生はこれまでの学びを生かし、夏に自己実現に向けての進路プレゼンを実施しました。また、金融講座などで社会人として必要な知識や情報を学びました。

ポスターセッション



探究活動



中間発表会



フィールドワークの様子

